

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	4 月	2 日	記入者	西田裕美
調査者名	小倉	春日	仲谷	西田	

文化財名	正暦寺境内のコジイ林				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1993年(平成5)3月5日				
所在地	奈良市菩提山町157番地の一部				
所有者 管理者	正暦寺				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	県指定文化財であるコジイ林の案内板や説明板はない。				
公開	参道からは見えるが、近くまで行くには本堂の拝観料が必要。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (低木や下草は鹿に食べられてほとんどない。)				
当面の課題	一見するとコジイ林はよく茂っているようだが、下草はほとんどなく、土がむき出しであった。ナンテンの木も人の背丈より下は枝ばかりになってしまっているところがあった。住職の話によると、5・6年前から、鹿が住み着いてアセビとセンリョウ・マンリョウ以外の草や木の葉を全部食べるとのこと。指定の構成種が失われているため早急な対策が必要。				
今後の課題	コジイ林自体は今も茂っているが、幹を鹿が傷つけるので木が弱ってくる。次の世代の低木も鹿が食べるので育ってこない。対策が必要。				
その他 (由緒など)	指定されているコジイ林は正暦寺の本堂の裏山で、本堂に向かって右手に見える建物の後ろから、本堂の左に広がる約18,800㎡のひとかたまりの暖地性極相林。春日山原始林、瀧蔵神社社叢、与喜山暖帯林、妹山樹叢等と同じ系列の森林で、これらのコジイ林は暖帯林の構成を見るうえで貴重とのこと。				
コメント	正暦寺さんは、鹿が入らないようにするために、電気を流す柵と網の柵の二段構えで対策をされていた。網は下からめくり上げられないように杭で留めてあった。いずれも広範囲に及んでおり、設置と補修の手間も大変で、もちろん費用もかかる。文化財指定後は県は該当施設からの連絡待ちでなく、数年に一度でもいいから実態把握のために調査することを望んでおられた。鹿の害については農作物については知っていたが、自然の林にも及んで、しかも奈良公園から離れた場所でも深刻な被害となっていることを初めて知った。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	4 月	2 日	記入者	西田裕美
調査者名	小倉	春日	仲谷	西田	

文化財名	正暦寺境内のコジイ林
------	------------

指定のコジイ林は本堂の後ろに広がる



下草や低木のないコジイ林と 鹿対策の網



鹿対策の電線



植樹した木に巻かれた鹿対策の布



犬を繋いでも鹿には効果なしとのこと



鹿に食べられて葉のないナンテン(太い幹の手前)

